地域医療センター地域医療連携通信

にじ

Kochi Health Sciences Center

地域医療センター長 就任のごあいさつ
小野 憲昭 …… P2

第46回　日本脊椎脊髄病学会　学術集会
English Presentation Award受賞　時岡 孝光 ・・・・・・・P3
わたし、がんばってます【新任医師紹介】 ・・・・・・・・・・・・・・・P4～5
産科からのお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
地域連携病院のご紹介 Vol.93　医療法人尚志会　愛幸病院 ・・・・P7
高知医療センター イベント情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

8
AUGUST 2017 Vol.142

地域医療連携室、まごころ窓口スタッフ一同

高知医療センターの理念　　ー 医療の主人公は患者さん ー

就任のご挨拶

地域医療センター長

小野 憲昭

Noriaki Ono

平成29年4月1日、地域医療センター長を拝命し、西岡 豊・前センター長の後任として就任いたしました。ひとことご挨拶申し上げます。

日頃より、高知医療センターとの医療連携にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。平成17年3月の高知医療センター開院当初から設けられております「地域医療センター」では、これまで12年間、地域の先生方との連携に努めてまいりました。おかげさまで、各地域医療機関との迅速で円滑な「連携」を構築できておりますこと、あらためて御礼申し上げます。

しかし現在、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、皆が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい・医療・介護・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築するよう、さらに連携を強化していくことが求められています。急激な高齢化への対応、特にこれまで病床過剰であった本県におきましては、厳しい対応が必要です。

私たちは、地域の先生方からご紹介いただく患者さんに、超急性期もしくは急性期の医療ならびに手術を適切に行い、再び地域の先生方に逆紹介させていただいて、患者さんが早く元どおりの「健康」な生活を過ごせるようになることが一番大切と考え、「患者さんファースト」の姿勢で、努力してまいります。そのためには、先生方から安心してご紹介いただける、信頼のできる病院、また患者さんの治療が進めばあらためて、先生方に安心して逆紹介を受けていただける病院となれますよう、努力してまいります。

そして、これまでも行ってまいりました、地域医療機関の方々に向けての研修会・症例検討会などを引き続き開催しながら、また、各医療機関への訪問を積極的に行わせていただき、「顔の見える、開かれた」地域医療センターを目指します。さらに今後は、「医療連携」のみならず、平行して「介護分野との連携」にも取り組んでまいります。

これからも、高知県の基幹病院の「地域医療センター」として、患者さんの安全・安心、また、地域医療機関の皆さま方の信頼をいただけますよう、一層の努力をしてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

news!

第46回 日本脊椎脊髄病学会 学術集会
English Presentation Award受賞

整形外科 時岡 孝光

平成29年4月13日に札幌市で開催されました、第46回 日本脊椎脊髄病学会 学術集会で整形外科時岡孝光医師が Minimally invasive stabilization of spines via a new posterolateral approach for upper cervical spinal injuries という英語発表でEnglish Presentation Awardを受賞し、学術集会の総会で表彰されました。

時岡医師のコメント

この度、脊椎外科では国内最大の学会である日本脊椎脊髄病学会で英語発表をさせていただき、賞をいただきました。発表内容は上位頚椎の外傷に対してナビゲーションを使用して後外側の小切開で固定術を行う新しい手術でした。従来の方法は後頭部を大きく縦に切開して出血の多い手術でしたが、小さな切開から安全に治療できる新しい手術を開発しました。これまで当センターで取り組んできた最先端の手術の集大成です。学会当日は書類選考でノミネートされた演者が審査員の前で5分の英語プレゼンテーションと3分の質疑応答を行うものでした。原稿なしのフリートークで質問にも無難に答えましたが、流暢な英語を操る米国帰りの若い演者たちの発表を聞いていると勝ち目はないと悲観していました。夕方の学会総会で審査結果が発表され、私の名前が呼ばれた時は思わずガッツポーズを取ってしまいました。賞状を慶應大学 中村教授より手渡され、受賞スピーチでは高知という地方都市で開発した手術方法について名誉ある賞を与えていただいたことに感謝の気持ちを述べさせていただきました。

この賞は私の英語力でいただいたものではなく、手術手技の内容に対して与えられたものであり、整形外科のみならず、救命救急センター、麻酔科、放射線科をはじめ、当センター全ての職員の皆さまの協力の賜物です。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

わたし、がん

救命救急科　上田 浩平
Kouhei Ageta

高知県出身です。高知医療センターで初期研修医として勤務後、高知県内の地域医療病院を転々としてまいりました。今までは当院のような病院に紹介する立場で診療を行ってまいりました。ドクターヘリには大変お世話になりました。医師として地域に育てていただいたと思っておりますので、今後は診療で少しでも恩返しできればと考えております。ご来院される患者さんにおかれましては救急という現場ですので重篤な状態でお目にかかることが多いと思います。適切かつ迅速な診療を心がけていく所存です。また、医療が高度化している昨今、わかりやすい説明を行いながら患者さんと医療者が一体となった医療を行っていきたいと考えております。小さな傷から大きな病気まで気軽にご相談ください。

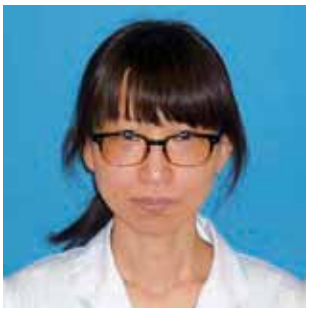
放射線療法科　児島 克英
Katsuhide Kojima

2017年4月より放射線療法科に着任しました。今まで瀬戸内海沿岸で過ごしておりましたが、何かの縁で太平洋側までまいりました。まだまだ土佐弁が分からず、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがご容赦ください。高知医療センターは放射線科分野ではIVRが盛んな施設ではありますが、IVRは専門外で放射線画像診断を専門としております。こちらではPET/CT検査も担当させていただいております。画像診断が診断、治療の一助となるよう努力してまいります。よろしくお願いします。

麻酔科　入江 直
Sunao Irie

平成29年4月より高知医療センター麻酔科へ着任いたしました。福井大学医学部を卒業後、北海道は留萌市立病院での初期研修を経て浜松医科大学麻酔科蘇生科へ入局しました。大学病院、静岡県立総合病院、静岡県立こども病院、浜松労災病院、浜松医療センターで麻酔科医として研鑽を積んでまいりましたが、結婚を機に妻の出身地である高知県へ異動してきました。麻酔科医とは言っても麻酔薬だけでなく解剖学・生理学・薬理学など幅広い知識を要求されるので、まだまだ勉強が必要だと思い知らされています。また他科の医師や手術室・集中治療スタッフとの連携も重要で、やりがいと働く喜びを感じています。住めば都、高知の全ての人のためにこれからも頑張ります。よろしくお願いいたします。

児童精神科　永野 志歩
Shiho Nagano



2017年4月からこころのサポートセンター児童精神科で勤務しております。それ以前は高知大学医学部附属病院にて子どものこころ診療部外来を担当していました。当院児童精神科は、行政や地域の精神科・小児科をはじめとする医療機関、学校、教育研究所などの教育機関、児童相談所・児童心理治療施設などの福祉機関と連携し、子どもたちをさまざまな側面から治療・支援しています。子どもたちの成長の場に立ち会えることは他に代えがたい喜びであることを、日々の診療の中で実感しています。

ばってます

新任医師紹介

整形外科　町田 崇博
Takahiro Machida

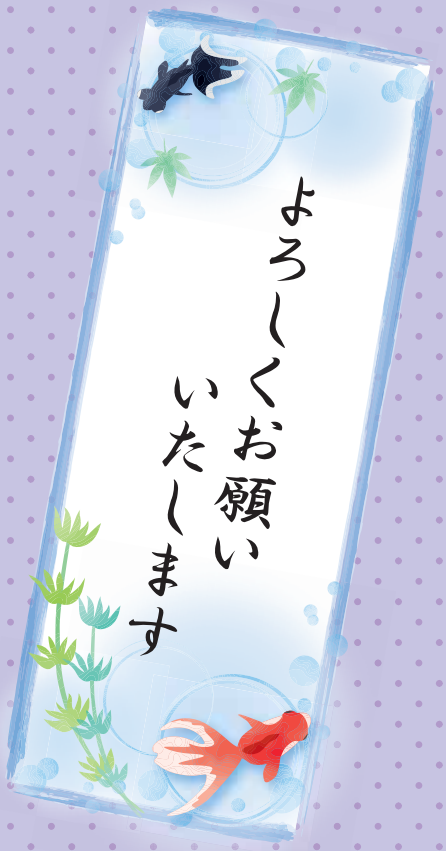
2017年4月より高知医療センター整形外科に勤務しております。高知県出身で、大阪医科大学卒業後、近森病院で初期研修・整形外科後期研修を修了、その後岡山大学病院（大学院）および関連病院での勤務を経て、5年ぶりに高知へ帰ってきました。岡山大学では主にリウマチグループでの研究・診療を行っておりました。高知医療センターでの脊椎手術や重症外傷診療に関しては不慣れな部分も多く、力不足を痛感する日々ですが、少しでも多くの患者さんのお役に立てるように頑張っていきたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

産科　渡邊 理史
Takafumi Watanabe

2017年4月から高知医療センターに勤務しています。専門は周産期ですが、当院では産科と婦人科両方の診療をしております。総合周産期母子医療センターの一員として、県内で完結できる周産期医療の提供を目指し、勉強しているところです。また、災害医療チーム（DMAT）の一員としても活動させていただいており、南海トラフ地震で、県民のみなさんに、いち早く医療提供できるように研鑽を積んでいきたいと思っております。未熟ものではございますが、よろしくお願いいたします。

消化器外科・一般外科　山川 純一
Junichi Yamakawa

2017年4月より高知医療センター消化器外科・一般外科に勤務しております。卒業後、高知で4年間の初期・後期研修を行った後、昨年度まで静岡県で勤務しておりました。まだまだ知識経験ともに未熟ではありますが、諸先生方の指導の下、真摯に日々の診療を行ってまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。



お知らせ

当院で分娩を希望される妊婦さんとそのご家族 そして妊婦健診をご担当の先生方へのお願い

年々の分娩件数の増加に対して、病床数の増加や入院期間の短縮化などで対応してきましたが、最近、それでもベッドコントロール(空きベッドをつくること)が大変になってまいりました。より重症な妊婦さんを受け入れるため、急に他の病棟への移動や退院日の繰り上げをお願いする事態が発生し、妊婦さんやご家族へご不安やご迷惑をお掛けするようになってきております。

今後、多少、余裕をもったベッドコントロールを行うために、以下のことを新たにお願いすることになりました。どうかご理解、ご協力のほど、お願いいたします。

1. 当院で分娩を希望される方は、他院で妊娠の診断をしていただき、地域連携室を通して受診予約をお願いいたします。受診は紹介状をお持ちいただくことが原則です。

2. 里帰りや通院のご都合で妊婦健診は他院で、分娩は当院で希望される方は妊娠20週前後で一度、紹介受診をお願いいたします。対象となるのは分娩予定日が平成29年12月以降(12月を含む)の妊婦さんです。
分娩予定者数を把握し、受け入れ調整をさせていただくためですが、あらかじめ帝王切開が必要とわかっている方(たとえば前回出産が帝王切開)が妊娠35～36週に入って、急に受診されても、帝王切開の手術枠確保が困難で受け入れできないことがあります。
妊婦健診のタイミングでの受診予約をお願いいたします。
★尚、他院で分娩予定であった方が、経過に変化があり、当院でのお産が好ましいと担当医が診断され、急きょ、ご紹介いただく場合は、これに該当しません。

3. 月あたりの分娩予定者数が一定数に達した場合、それ以降、当該月のローリスク妊娠の方の受け入れをお断りいたします。
受け入れの可否は随時、ホームページにてお知らせいたします。
妊娠分娩リスクの評価は、ご紹介元の先生にお願いしますが、ご紹介となった場合は、当院診察医師が最終的に判断させていただきます。他院へのご紹介は改めてご紹介元の先生にお願い申し上げます。

地域医療連携病院のご紹介 Vol.93

医療法人尚志会　愛幸病院

〒780-0041
高知県高知市入明町14番2号
TEL：088-822-2739
FAX：088-823-7811
H P：http://shoshikai-aiko.or.jp
【診療科】
内科、心療内科、精神科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 12:00	●	●	●	●	●	●	
13:30 ～ 17:00	●	●	●	●	●		

休診日：土曜日午後・日曜日・祝日

医療法人尚志会　愛幸病院は、平成27年12月に建替が完成。患者さんの人権を尊重し、その人らしい人生を送れるように、院内の全スタッフが最善を尽くした医療を提供するようにしています。精神科専門外来及び内科疾患を合併した患者さんにも、可能な限り対応出来るようにしています。また、スタッフが医療者としてだけではなく、社会貢献ができる人間であるように人材育成にも取り組んでおります。

（愛：愛幸病院、高：高知医療センター）

高：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。

愛：精神科専門外来として、のめりこみ外来（アルコール使用障害、ギャンブル依存症等）や、ものわすれ外来、気分障害・ストレス外来を開設しております。また、ご家族の相談にも可能な範囲で対応し、お役にたてるようにしております。自宅、施設、医療機関等への往診も積極的に行くようにしております。

高：地域との連携や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

愛：医療相談室を窓口として、障害福祉の担当者、地域包括支援センター、高齢者支援センター、社会福祉協議会、医療機関等からの精神保健福祉相談を受けたりしながら、連携をとって取り組んでおります。また、地域の民生委員や皆さまのご理解とご協力を得まして、『いきいき百歳体操』のサポートや、医療法人としては初の『認知症カフェ』を開催しています。

高：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。

愛：国の医療施策を踏まえながら、患者さんが医療の主体であるという基本理念に基づき、全スタッフが積極的に勉強会や講習会に参加し、常に最新、最良の医療が提供できるような医療環境を整えていきたいと考えております。医療者と患者さんが協力し合って、外来診療及び入院医療が充実した病院になるよう、日々努力していきます。

高：最後に高知医療センターとの連携についていかがですか？

愛：合併症を持った精神疾患の患者さんの医療が適切に行えるよう、日頃から勉強会等を通して交流を図り、両病院間に信頼関係が築けていけるようにしていきたいと思います。

ご多忙の中、
取材にご協力いただき
ありがとうございました。

月	日	曜	高知医療センター　イベント情報
8月	16	水	**高知医療センター看護局集合研修　他施設公開研修**（参加費無料・事前申込要） 内容：心のケア２ ②抑うつ状態の患者の看護　場所：高知医療センター　2階　やなせすぎ　時間：17：30 ～ 19：00　対象：看護師（20名） 講師：高知医療センター 精神科認定看護師 参加ご希望の方はお問い合わせください お問合せ：高知医療センター　看護局　教育担当（野中、三浦、藤本）　TEL：088（837）3000（代）
	17	木	**高知医療センター看護局集合研修　他施設公開研修**（参加費無料・事前申込要） 内容：小児ＢＬＳ／ＡＥＤ研修　場所：高知医療センター　2階　スキルズラボ室　時間：13：00 ～ 16：00　対象：看護師（3名） 講師：高知医療センター ＢＬＳインストラクター 参加ご希望の方はお問い合わせください お問合せ：高知医療センター　看護局　教育担当（野中、三浦、藤本）　TEL：088（837）3000（代）
	20	日	**高新・高知医療センター　がんセミナー 2017**（参加費要・事前申込要） 内容：抗がん剤の副作用とその対処法　場所：高新文化教室（RKC高知放送南館３階37号室）　時間：10：30 ～ 12：00　対象：一般（40名） 講師：高知医療センター　薬剤局長　宮本 典文 お問合せ：高新文化教室　TEL：088（825）4322　受講料　9，850円／全12回　1，500円／１回
	26	土	**地域がん診療連携拠点病院　公開講座**（参加費無料・事前申込不要） 内容：講演１：甲状腺がんの診断と治療 講演２：肝臓外科治療の最前線 講演３：がん治療をサポートするIVR（画像下治療）　場所：ゆすはら・夢・未来館 大ホール（梼原町梼原1426番2）　時間：14：00 ～ 16：30　対象：一般 講師：講演１：高知医療センター　乳腺・甲状腺外科　医長　大石 一行 講演２：　同　消化器外科・一般外科　医長　住吉 辰朗 講演３：　同　放射線療法科　科長　秦 康博 お問合せ：高知医療センター　事務局　経営企画課　棚野　TEL：088（837）3000（代）
	26	土	**高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業　第46回　地域医療連携研修会**（参加費無料・事前申込不要） 内容：終末期医療と臨床倫理 生命維持治療の中止の許容性と医療方針の決定のあり方　場所：高知医療センター　2階　くろしおホール　時間：14：00 ～ 15：40　対象：一般 講師：慶應義塾大学大学院　健康マネジメント研究科　教授　前田 正一 氏 お問合せ：高知医療センター　地域医療連携室　門田　TEL：088（837）3000（代）
	31	木まで	**横倉山ネイチャーフォト展**（入場無料・事前申込不要） 内容：横倉山ネイチャーフォト展 高橋宣之氏　写真展　場所：高知医療センター 2階 なるほどライブラリ北・南廊下　時間：8：30 ～ 17：15　対象：一般 地元高知をベースに、主に自然風景を中心に撮影活動され「仁淀ブルー」で著名な高橋宣之氏の作品展です お問合せ：高知医療センター　なるほどライブラリ　橋田　TEL：088（837）3000（代）

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

編　集　後　記

真夏日の暑い日が続いておりますが、お元気にお過ごしでしょうか。

今月は、地域医療センター長ならびに広報委員長である小野憲昭先生のご挨拶、整形外科科長の時岡孝光先生が第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会でEnglish Presentation Awardを受賞された記事、またこの4月から着任されました新任の先生方の紹介を中心に掲載しております。ぜひ、ご覧下さい。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。　（広報委員 安田）

平成 29 年 8 月 1 日発行
にじ 8 月号（第 142 号）
毎月発行
編集者：広報委員会
発行者：吉川 清志
印　刷：株式会社 高陽堂印刷

発行元：
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池 2125-1
TEL：088（837）3000（代）

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp